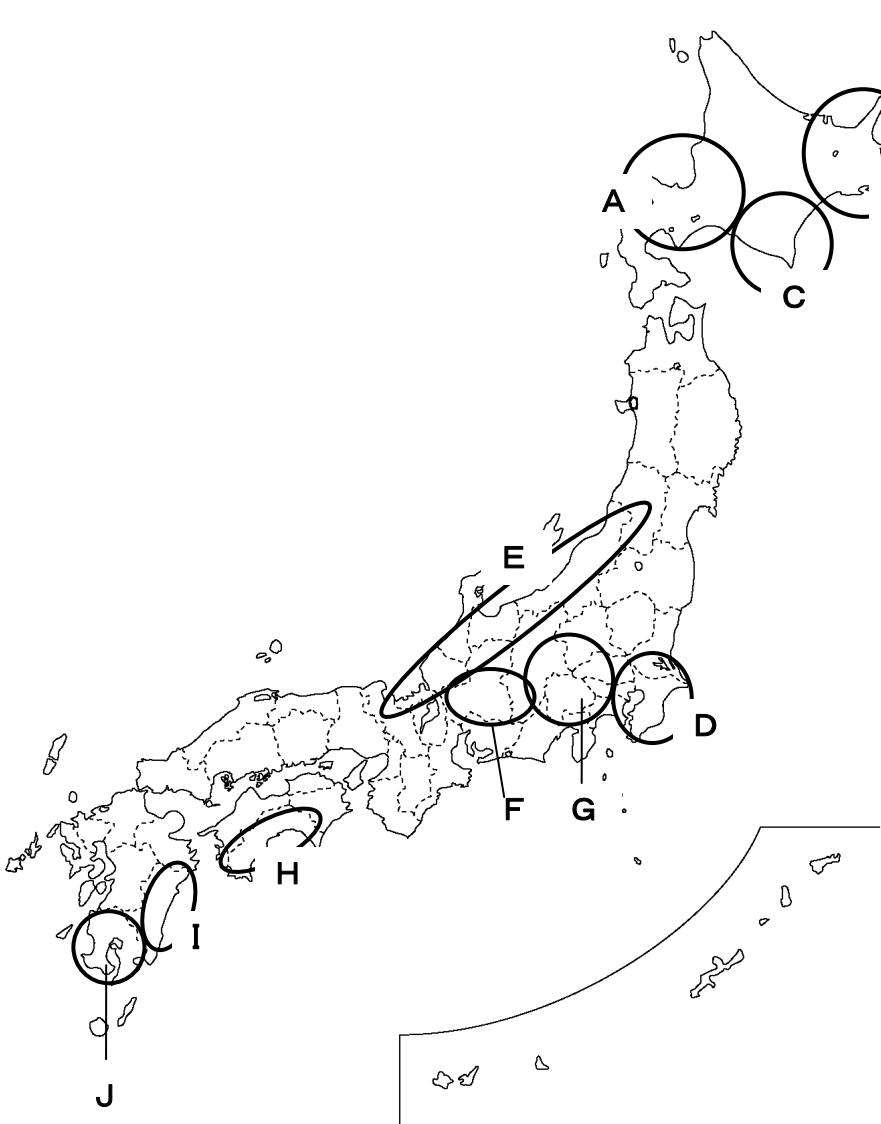


チャレンジシート① 学ぶ

単元名
世界と比べた日本の地域的特色
日本の農業

日本の農業の特徴



Aの地域：北海道で稲作がさかんな地域

Bの地域：酪農が大規模に行われ、乳製品や生乳を他地域に出荷する。

Cの地域：野菜の栽培がさかんな地域。じゃがいもや玉ねぎなど日持ちする野菜が中心。

Dの地域：東京大都市圏に短時間で出荷できるため、鮮度が重要な野菜や花、牛乳などを生産する近郊農業がさかん。

Eの地域：豊富な雪どけ水を利用した稲作がさかん。全国有数の米の単作地帯。

Fの地域：標高が高い高原では、涼しい気候を

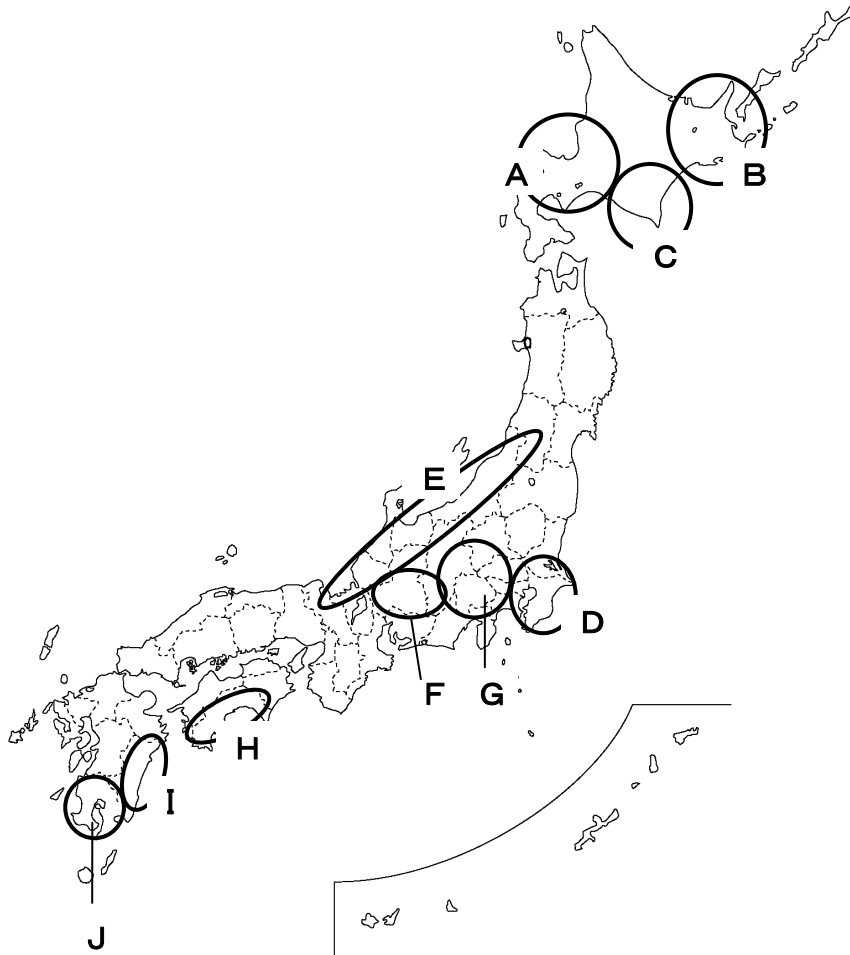
利用したレタスやキャベツなどの栽培がさかん。養蚕がさかんだった諏訪盆地は、製糸業から精密機械工業、電気機械工業へと移り変わっていった。

Gの地域：扇状地の水はけのよさを生かし、ぶどうやもも等の果樹栽培がさかん。山梨県は一大産地。

H・Iの地域：太平洋側の温暖な気候をいかした野菜の栽培がさかん。ビニルハウスなどを用いた施設園芸農業がさかんで、ほかの産地と出荷時期をずらして栽培され、全国に出荷されている。

Jの地域：火山灰でできた土地で、さつまいも、野菜、飼料作物などの栽培がさかん。また、肉牛や豚、鶏の飼育を行う畜産がさかん。

単元名	年組番	15問
世界と比べた日本の地域的特色 日本の農業	氏名	



Aの地域：北海道で（ ① ）がさかんな地域

Bの地域：（ ② ）が大規模に行われ、（ ③ ）や生乳を他地域に出荷する。

Cの地域：北海道で野菜の栽培がさかんな地域。（ ④ ）や玉ねぎなど日持ちする野菜が中心。

Dの地域：東京大都市圏に短時間で出荷できるため、（ ⑤ ）が重要な野菜や花、牛乳などを生産する、（ ⑥ ）がさかん。

Eの地域：豊富な雪どけ水を利用した（ ⑦ ）がさかん。全国有数の米の（ ⑧ ）地帯。

Fの地域：標高が高く、（ ⑨ ）気候を利用したレタスやキャベツなどの野菜の栽培がさかん。

Gの地域：（ ⑩ ）の水はけのよさを利用したぶどうやももなどの（ ⑪ ）栽培がさかん。

H・Iの地域：太平洋側の（ ⑫ ）な気候をいかした野菜の栽培がさかんな地域。ビニルハウスなどを用いた（ ⑬ ）農業がさかんで、ほかの産地と出荷時期をずらして栽培され、全国に出荷されている。

Jの地域：火山灰でできた土地で、（ ⑭ ）、野菜、飼料作物の栽培がさかん。また、肉牛や豚、鶏の飼育を行う（ ⑮ ）がさかん。

① 稲作	② 酪農	③ 乳製品
④ じゃがいも	⑤ 鮮度	⑥ 近郊農業
⑦ 稲作	⑧ 単作	⑨ 涼しい
⑩ 扇状地	⑪ 果樹	⑫ 温暖
⑬ 施設園芸	⑭ さつまいも	⑮ 畜産

単元名	年組番	4問
世界と比べた日本の地域的特色 日本の農業	氏名	

1 日本海側の地域で、稲作が盛んな理由を「積雪」の語句を用いて説明しましょう。

(例) 冬の積雪が多く、春になると大量の雪がとけるので、豊富な水を有効に使えるから。

2 東京の周辺で、キャベツなどの野菜や花などの栽培がさかんな理由を「輸送」「消費」の語句をどちらとも用いて説明しましょう。

(例) 輸送費が安く、短時間で新鮮な農産物を人口の多い消費地に届けることができるため。

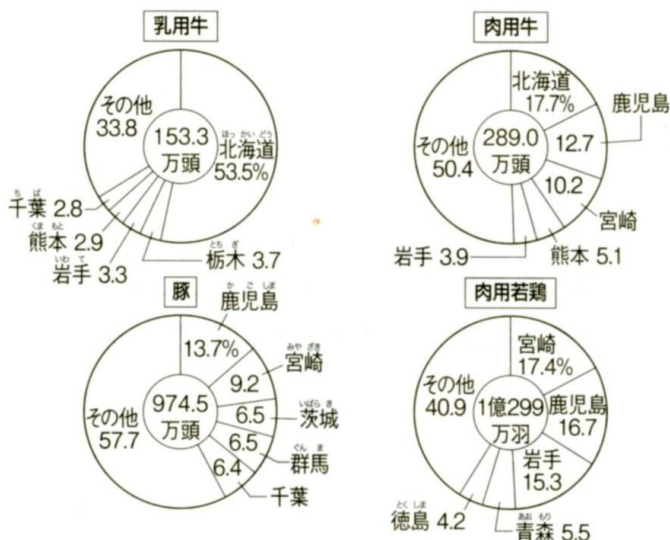
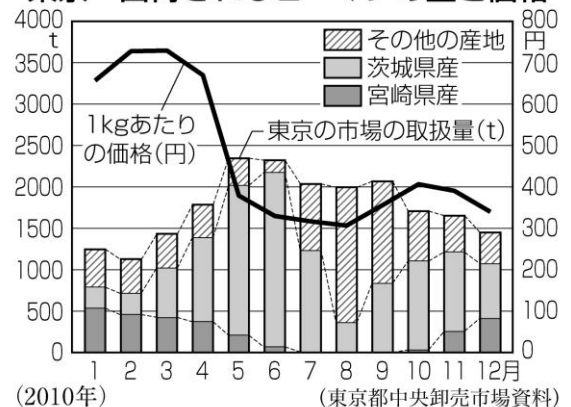
3 右のグラフを見て、宮崎県のピーマン栽培の特徴を「温暖」「価格」の語句を用いて説明しましょう。

(例) 温暖な気候を利用して、他の産地の

出荷量が少ない時期に市場へ出荷できるため、

高い価格で販売することができる。

東京へ出荷されるピーマンの量と価格



(2008年「畜産統計」ほかより)

4 左のグラフを見て、九州地方南部の農業の特色について、シラス台地と関連付けて説明しましょう。

(例) シラス台地で栽培した飼料作物を

牛や豚などの飼育に用いるため、畜産が

発達している。